



お茶会

Q&A

一般教育科の徳田先生と
専攻科2年生の秀山君に
答えていただきました。

- Q1** 高校時代に悩んだことはどんなことでしたか？
Q2 どのようにして悩みを解決されましたか？
Q3 学生への伝言をお願いします。



一般教育科 徳田 仁 先生

- A1** 失恋、睡眠中の悪夢、足が短くてズボンを買う度に裾を切って補正した事など悩みは色々ありました。最も憂鬱な悩みは数学の試験で毎回赤点を取ったことでした。試験に備えての勉強中に眠り込み、夢の中で数学の問題を解き始め、「解けた！」と叫んだこともあります。翌日目覚めると、夢の中で解いたはずの問題は相変わらず分からず分からず今まででした。
- A2** 厚さ15cmもある『数学解法事典』を買って貰いました。ほとんど力を奏しませんでした。二つ目の方法は友達に教えて貰うことでした。勉強後夏はかき氷、冬はぜんざいを食べて友達と談笑しました。三つ目は、例題を一日一題解くことを習慣付けました。試験問題に例題が出題されていると「やった！」と微笑みました。数学を得意科目に変えることは出来ませんでした。でも、何とか卒業できました。
- A3** 出来るだけたくさん本を読んでください。読むことは自分の殻を壊すことに繋がります。自分の固定観念を克服できれば、思考の柔軟性が生まれます。柔軟性＝多様性です。多様性を認めなければ心の余裕が生まれます。眞の教養とは知識の量ではなく相手に接したときの心の余裕のことです。



生産情報システム工学専攻2年生 秀山 文彦くん

- A1** 本科5年、専攻科2年という長い学校生活を通して最も悩んだことは進路についてです。私はどのような仕事をしたいのか、どのような技術者になりたいのかという明確な目標を持たずに学校生活をおくっていたため、卒業後にどうするかとても迷いました。
- A2** 4年生になってからですが、とりあえずいろんなことにチャレンジしてみました。その中でも特に刺激的だったことは国際交流（シンガポール）・国際学会への参加、ティーチングアシスタントの経験です。このようなことを通して、目標が見つかり、さらに目標が定まったことで、普段の学校生活に対する姿勢も変わったように思います。
- A3** 悩みを解決する「きっかけ」を探してみてください。私の場合はいろんなことにチャレンジすることで「きっかけ」を見つけましたが、探し方は人それぞれです。興味があることを調べてみる、悩みを相談する、その他なんでもいいと思いますが、とりあえず動くことが大事です。そうすることで新しい自分が発見できるかもしれません。

お茶会を開催しました

平成25年11月12日(火) 16:30~18:00まで、図書館1階の和室において、学生相談室主催のお茶会を開催しました。講師の坂本節子先生と32名の学生(参加者)、お手伝いにきてくれた茶道部の学生、相談室員でお茶会を楽しみました。お茶のお点前1回につき、6~7名の学生が茶室に入り、坂本先生



お茶会の様子

や茶道部の学生の丁寧なご指導のもと、お茶とお菓子を頂戴しました。その日はとても寒い日でしたが、茶室に一歩入ると、お湯のシュンシュンと沸く音が響き、あたたかくゆったりとした雰囲気に心が休まりました。参加者は、坂本先生や茶道部の学生たちの心からのおもてなしに、いやされたことと思います。

大人気のお茶会、いつかまた学生相談室で開催できれば・・・と考えています。

ネット依存対策の特別講義を開催しました

平成25年11月5日(火)の合同ホームルームの時間に、視聴覚室にて「学生のネット依存について」の特別講義を開催しました。この講義は学生主事室と学生相談室の合同企画で、学生のネット依存対策の一環として実施しました。講師に佐賀大学保健管理センター所長の精神科医、佐藤武先生をお招きして、1年生5学科216名と教職員20名が受講しました。ネット依存とは?ネットにはまる理由、コンピュータゲームの弊害、ネット依存に陥らない方策等についてお話していただきました。

16歳の高校生を対象としての講義は佐藤先生にとって初めての体験で、学生一人一人に直接問い合わせたり、お話の合間に笑い誘う冗談を発したり、学生の耳目を集めるように工夫していました。



ネット依存対策特別講義

学生相談室の利用件数

平成24年度の相談内容の内訳と平成20~24年度の5年間の学生相談室利用件数を以下の図表に示します。平成24年度の傾向として、前年度減少にあつた相談件数が再び増加しています。具体的な項目としては、恋愛での相談が24件(平成23年度)から106件(平成24年度)に急増しています。また、進路、家庭環境、対人関係、不登校、学業、性格、病気、その他での相談も増加しており、皆さんにとって本当に悩みの多い年だったのではないかと思います。悩みがあると、他の悩みへと繋がってしまう場合もあります。何か悩みがあるときは一人で悩まず、気軽に相談室を訪ねてみて下さい。

平成24年度相談内容と件数 ※カッコ内は平成23年度

項目	件数	項目	件数
進路	37(17)	性格	19(15)
家庭環境	68(18)	病気	58(39)
恋愛	106(24)	いじめ	0(0)
対人関係	88(46)	体形・体质	4(24)
不登校	5(0)	学生生活	31(69)
学業	48(25)	その他	36(18)
合計			500(295)



保健室便り

ーなぜ耳が「ツーン」となるの？？？ー

トンネルの中や飛行機の離発着時、エレベーターに乗っているときなどに、耳が「ツーン」となったことはありませんか？これは、急激な気圧の変化によって耳の中の鼓膜が引っ張られることで起こる現象です。

私たちの耳は、普段は鼓膜の外側と内側が同じ気圧になるように調整されていますが、例えば飛行機で上空に上がっていくと、機内の気圧は急激に下がります。鼓膜の外側と内側に生じた気圧の調整が間に合わず、気圧が低い外側に鼓膜が引っ張られ「ツーン」と感じます。これを調整するためには、内耳(鼓膜の奥)と咽頭(鼻の奥)を結ぶ耳管を広げ空気の通りをよくすることが必要になりますが、簡単な方法は唾液を飲み込むことで、飲み物を飲んだり飴やガムを食べても効果があります。このように耳の内外の気圧を治すことを『耳抜き』と呼びます。

相談室の場所は…

- 学生相談室
修己館1階保健室の左隣り
☎ 0944-53-8657
- カウンセリング室
修己館1階保健室右隣り
☎ 0944-53-8625
- 池之上教員室
電気工学科棟1階
☎ 0944-53-8875
- 西山教員室
一般教育北棟2階
☎ 0944-53-8675
- 嘉藤教員室
一般教育北棟3階
☎ 0944-53-8640
- 徳田教員室
一般教育北棟3階
☎ 0944-53-8639



編集後記

有明高専の初代相談室長の川上龍男先生に先日お会いした。川上先生は、「微笑み天使」と呼ばれるほど、いつも周囲に対して微笑みを向けていた。その微笑みは今も変わらず、私に自信と勇気を与えてくれた。相談室も君たちにそんな「微笑み」を与えたいと思っている。

この「微笑み」28号発行のために、ご多忙の中、原稿を寄せていただいた多くの方に感謝申しあげます。(西山)

有明工業高等専門学校
学生相談室便り

『微笑み』第28号

発行日 平成26年2月23日
発行 有明工業高等専門学校
学生相談室
〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
電話番号 0944-53-8657